

候補地域

認定審査結果

候補 おもてなし文化～受け継がれゆく京の花街～

候補

総括評価

1. 計画目標の達成に対する評価

	評価	評価理由
(1) 日本遺産を活用した集客・活性化	不可	■ 「観光客入込み数」及び「外国人観光客数」について、目標を達成していない。
(2) 日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化	不可	■ 「地域の文化に誇りを感じる住民等の割合」について、令和6年度の調査が実施されていない。
(3) 日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立	不可	■ 「日本遺産関連で開発された商品・サービス数」及び「日本遺産認定に向けた取組への協力者数」について、目標を達成していない。
(4) その他	不可	■ 「担い手の人数」について、目標を達成していない。
総合評価	不可	■ 全体として目標を達成しているとは言えない。

総括評価

II. 取組内容に関する評価

		評価	評価理由
(1) 組織整備	個別評価	不可	■ 関係団体との連携などの基礎的な取組が行われているものの、おおきに財団友の会会員数が減少するなど、組織体制に係る取組のさらなる強化が望まれる。
(2) 戦略立案	個別評価	不可	■ マーケティング調査などの基礎的な取組が行われているものの、花街関連商品の販売額が減少するなど、戦略立案に係る取組のさらなる強化が望まれる。
(3) 人材育成	個別評価	不可	■ 芸妓舞妓の人材育成の取組に留まっており、花街全体の地域活性化に向けた人材確保・育成など、人材育成に係る取組のさらなる強化が望まれる。
(4) 整備	個別評価	不可	■ 環境整備や建造物の修理、多言語化等の取組が一定程度行われているものの、取組内容の評価するための適切な指標の設定が望まれる。
(5) 観光事業化	個別評価	不可	■ インバウンド向けの非公開文化財特別体験コンテンツの造成などの取組が行われているものの、観光事業化に係る取組のさらなる強化が望まれる。
(6) 普及啓発	個別評価	不可	■ 取組内容は他府県の学校の修学旅行生に向けたものが主であり、地域内の学生・住民に向けた普及啓発に向けた取組が実施されておらず、普及啓発に係る取組のさらなる強化が望まれる。 ■ 取組内容の評価するための適切な指標の設定が望まれる。
(7) 情報編集・発信	個別評価	不可	■ 各種チャネルを活用した情報発信の取組が行われているものの、取組内容の評価するための適切な指標の設定が望まれる。
総合評価		不可	■ 全体として、日本遺産を通じた地域活性化・観光の振興を図る土台の整備及び必要な取組の実施ができていない。

3

日本遺産を通じた地域活性化計画

	評価理由
① ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること	■ ストーリーについて、特に何をテーマにして語りたいのか、その独自性は何かを明確にすることが望まれる。 ■ 京都には数多くの文化資源がある中で、花街をどのように位置づけ、何を保全・継承・活用し、日本遺産を通じてどのように地域活性化に繋げるかの考えを明確に定義することが望まれる。
② 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、その実現に向けた日本遺産地域として取り組む具体的な方策が適切に示されていること	■ ビジョンについて、ストーリー上重視されている「おもてなし」を活かすような内容となっていない。 ■ 花街を活かした地域活性化の方向性が不明瞭であり、これまでの成果や課題等を踏まえ、方向性とその実現に向けた具体策を検討することが望まれる。
③ ストーリーへの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されると見込まれること	■ 事業の推進体制が従来の体制を踏襲し花街と関係者に限定されているように見受けられるため、一般の民間企業の参入を促し、自走・好循環を生み出し、今後の活動の発展が期待できる体制を構築することが望ましい。
総合評価	■ 昨年度審査時の指摘を踏まえた計画の修正・ブラッシュアップが求められる。 ■ 花街関係者だけではなく地域の関係主体・民間事業者の参画を念頭に置いた実施体制の構築が望まれる。 ■ 日本の歴史における花街の意味を正確に海外に発信していくために、「おもてなし」以外の切り口の検討が求められる。

評価結果	候補地域として認定継続
------	-------------

4